看護学科　1年前期　専門基礎科目／専門科目

1. 解剖生理学Ⅰ

2. 解剖生理学Ⅱ

3. 免疫と感染

4. 代謝と栄養

5. 医療学入門

6. 生涯人間発達学

7. 社会福祉概論

8. 看護学概論

9. 看護技術論Ⅰ

10. 生活行動援助技術論

11. 地域・在宅看護学概論

看護学科

科目名: 解剖生理学Ⅰ					担当教員 氏名: 島田ひろき
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	

実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	金沢医科大学医学部解剖学1教室で行った解剖学、組織学、発生学の講義と解剖学実習、組織学実習、および看護学部で行った解剖学の講義などの経験を生かして授業を行っている。

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
人体の構造と機能を学ぶ。(生体の恒常性、細胞と組織、骨格・筋系、血液・循環器系、呼吸器系、体液、泌尿器系)	細胞、骨格、筋、循環器、呼吸器、泌尿器

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．5．6．9
A 知識・理解力	看護に活用される理論、技術を身につけるために、人体の構造と機能を理解する
B 専門的技術	専門的看護技術を修得するために、人体の構造と機能を理解する
C 論理的思考力	人体の構造と機能を理解し、看護の理論や技術を論理的に説明できる能力を養う
F チームワーク・リーダーシップ	医学の基礎である人体の構造と機能を学修することにより、医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する
G 倫理観	人体の構造と機能を知ることにより、人間の尊厳を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 90 %	レポート: 10 %	発表: %	実技試験: %	その他: %

特記事項:テストは小テスト，定期試験を含む。

アクティブラーニング要素:
(課題解決型学習) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:小テストは各章ごとに行う。定期試験は全講義終了後、2週間後に行う。レポートは2回行う。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:試験は実施後，解説し、採点後、返却する。レポートは採点後、返却する。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【島田】解剖生理学の基本的事項を理解する。(解剖学、生理学とは、解剖学的用語)	【予習】教科書(序章)を読む。 【復習】解剖生理学の基本的事項(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
②【島田】解剖生理学の基本的事項を理解する。(生体の恒常性、フィードバック機構)	【予習】教科書(序章)を読む。 【復習】解剖生理学の基本的事項(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
③【島田】細胞を理解する。(細胞の構造と機能)	【予習】教科書(細胞と組織)を読む。 【復習】細胞(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
④【島田】組織を理解する。(人体を構成する4種の組織)	【予習】教科書(細胞と組織)を読む。 【復習】細胞(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑤【島田】骨と骨格を理解する。	【予習】教科書(骨格系)を読む。 【復習】骨、骨格(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑥【島田】関節の構造と種類、筋の種類と筋の機能を理解する。	【予習】教科書(骨格系、筋系)を読む。 【復習】関節、筋の種類、機能(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑦【島田】骨格筋の解剖生理を理解する。	【予習】教科書(骨格系、筋系)を読む。 【復習】骨格筋の解剖生理(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑧【島田】血液を理解する。	【予習】教科書(血液)を読む。 【復習】血液(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑨【島田】心臓の構造と機能を理解する。	【予習】教科書(心臓)を読む。 【復習】心臓(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑩【島田】】血管と循環を理解する。	【予習】教科書(血管と循環)を読む。 【復習】血管と循環(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑪【島田】呼吸器系の構造と機能を理解する。	【予習】教科書(呼吸器系)を読む。 【復習】呼吸器の構造と機能(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑫【島田】呼吸のプロセスと調節を理解する。	【予習】教科書(呼吸器系)を読む。 【復習】呼吸のプロセスと調節(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑬【島田】腎臓の構造と機能を理解する。	【予習】教科書(泌尿器系)を読む。 【復習】腎臓の構造と機能(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑭【島田】尿管・膀胱・尿道と排尿の生理を理解する。	【予習】教科書(泌尿器系)を読む。 【復習】尿管・膀胱・尿道と排尿の生理(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑮【島田】体液の調節を理解する。	【予習】教科書(体液)を読む。 【復習】体液(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分

使用テキスト:人体の構造と機能(1):解剖生理学 第5版(メディカ出版)、林正健二著、ISBN978-4-8404-7831-1 イメージできる解剖生理学 第2版(メディカ出版)、ナーシング・サプリ編集委員会編、ISBN978-4-8404-8213-4	その他参考文献など: つなげてみたらスルスルわかる生化学・生理学・解剖学(Gakken)、橋本さとみ編、ISBN978-4-7809-1419-1 3ステップ解剖生理学(南江堂)、開道貴信著、ISBN978-4-524-22693-1 これで完璧！看護国試必修完全攻略集第116回(2026年実施)対策、ISBN978-4-991-35614-8

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 解剖生理学は、全ての看護科目の基礎となります。また、医療職の共通言語でもあります。覚えることが大変多いですが、教科書のWeb動画やイメージできる解剖生理学の問題、小テストなどを活用して、くじけずにしっかりと学修してください。

看護学科

科目名: 解剖生理学Ⅱ					担当教員 氏名: 島田ひろき
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	

実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	金沢医科大学医学部解剖学1教室で行った解剖学、組織学、発生学の講義と解剖学実習、組織学実習、および看護学部で行った解剖学の講義などの経験を生かして授業を行っている。

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
人体の構造と機能を学ぶ。(消化器系、神経系、感覚器系、皮膚と膜、免疫系、体温調節、内分泌系、生殖器系)	消化、神経、感覚、免疫、内分泌、生殖

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．5．6．9
A 知識・理解力	看護に活用される理論、技術を身につけるために、人体の構造と機能を理解する
B 専門的技術	専門的看護技術を修得するために、人体の構造と機能を理解する
C 論理的思考力	人体の構造と機能を理解し、看護の理論や技術を論理的に説明できる能力を養う
F チームワーク・リーダーシップ	医学の基礎である人体の構造と機能を学修することにより、医療チームの一員であることを認識し、看護師の役割を理解する
G 倫理観	人体の構造と機能を知ることにより、人間の尊厳を理解し、医療に携わる者としての倫理観を身につける

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 90 %	レポート: 10 %	発表: %	実技試験: %	その他: %

特記事項:テストは小テスト，定期試験を含む。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:小テストは各章ごとに行う。定期試験は全講義終了後、2週間後に行う。レポートは2回行う。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:試験は実施後，解説し、採点後、返却する。レポートは採点後、返却する。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【島田】食欲、咀嚼、嚥下を理解する。(食欲、口腔・咽頭・食道の構造と機能)	【予習】教科書(食欲、咀嚼、嚥下)を読む。 【復習】食欲、咀嚼、嚥下(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
②【島田】消化と吸収を理解する。(小腸・肝臓・胆嚢・膵臓の構造と機能)	【予習】教科書(消化と吸収)を読む。 【復習】消化と吸収(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
③【島田】排泄を理解する。(大腸の構造と機能)	【予習】教科書(排泄)を読む。 【復習】大腸の構造と機能(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
④【島田】神経組織の構造と機能、中枢神経を理解する。	【予習】教科書(神経系)を読む。 【復習】神経組織の構造と機能、中枢神経系(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑤【島田】末梢神経を理解する。	【予習】教科書(神経系)を読む。 【復習】末梢神経系(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑥【島田】視覚を理解する。	【予習】教科書(感覚器系)を読む。 【復習】視覚(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑦【島田】聴覚・平衡覚を理解する。	【予習】教科書(感覚器系)を読む。 【復習】聴覚・平衡覚(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑧【島田】嗅覚・味覚、体性感覚、内臓感覚を理解する。	【予習】教科書(感覚器系)を読む。 【復習】嗅覚・味覚、体性感覚、内臓感覚(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑨【島田】皮膚と膜、体温調節を理解する。	【予習】教科書(皮膚と膜/体温調節)を読む。 【復習】皮膚と膜/体温調節(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑩【島田】】免疫系の概略、獲得免疫機構を理解する。	【予習】教科書(免疫系)を読む。 【復習】獲得免疫(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑪【島田】自然免疫機構、感染症、アレルギー、自己免疫疾患を理解する。	【予習】教科書(免疫系)を読む。 【復習】自然免疫機構、感染症、アレルギー、自己免疫疾患(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑫【島田】内分泌系を理解する。(視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体)	【予習】教科書(内分泌系)を読む。 【復習】視床下部、下垂体、甲状腺、上皮小体(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑬【島田】内分泌系を理解する。(膵臓、副腎、性腺、その他の内分泌器官・組織)	【予習】教科書(内分泌系)を読む。 【復習】膵臓、副腎、性腺、その他の内分泌器官・組織(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑭【島田】生殖器系、発生を理解する。(女性生殖器、発生)	【予習】教科書(生殖器系)を読む。 【復習】女性生殖器、妊娠と出産(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分
⑮【島田】生殖器系を理解する。(男性生殖器)	【予習】教科書(生殖器系)を読む。 【復習】男性生殖器(小テスト等)	【予習】60分 【復習】60分

使用テキスト:人体の構造と機能(1):解剖生理学 第5版(メディカ出版)、林正健二著、ISBN978-4-8404-7831-1 イメージできる解剖生理学 第2版(メディカ出版)、ナーシング・サプリ編集委員会編、ISBN978-4-8404-8213-4	その他参考文献など: つなげてみたらスルスルわかる生化学・生理学・解剖学(Gakken)、橋本さとみ編、ISBN978-4-7809-1419-1 3ステップ解剖生理学(南江堂)、開道貴信著、ISBN978-4-524-22693-1 これで完璧！看護国試必修完全攻略集第116回(2026年実施)対策、ISBN978-4-991-35614-8

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 解剖生理学は、全ての看護科目の基礎となります。また、医療職の共通言語でもあります。覚えることが大変多いですが、教科書のWeb動画やイメージできる解剖生理学の問題、小テストなどを活用して、くじけずにしっかりと学修してください。

看護学科

科目名: 免疫と感染			担当教員 氏名: 吉井 美穂			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	細菌学における研究手法を学んだ看護師経験のある教員が、微生物の生態から人との共存における基礎的知識とその知識をもとにした感染対策の考え方について講義する。					

授業科目の学修教育目標の概要:	キーワード
宿主となるヒトと病原体双方の性質と両者の相互関係を理解するために必要な基本的知識と方法原理を学ぶ	感染症 免疫・生体防御機構 病原体・細菌・ウイルス 寄生虫

授業における学修の到達目標

学修教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 8. 9. 10
A 知識・理解力	生体防御機構及び感染症の診断・治療・予防法について理解する
C 論理的思考力	感染症の臨床的特徴から対処法を論理的に説明できる能力を養う

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 80 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %

特記事項:
上記の「その他20%」は授業への参加姿勢や努力を評価する/事前に自己課題を考え、その課題解決に向けての対策をまとめる。

アクティブラーニング要素:
(課題解決型学修) ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時にテストを実施する.

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 最後に確認のための試験を行い、採点し返却する.

授 業 計 画	準備学修(予習・復習等)	
	学修内容	学修に必要な時間(分)
①ヒトと感染症の歴史	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
②感染のしくみ	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
③免疫と生体防御機構	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
④法律による感染症予防	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
⑤微生物総論	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
⑥細菌の性状と主な病原細菌と疾患	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
⑦ウイルスの性状と主な病原ウイルスと疾患	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分
⑧真菌感染症、寄生虫感染及び衛生動物	【予習】教材の予習 【復習】学修内容の復習	【予習】30分 【復習】30分

使用テキスト: 藤本秀士編:「わかる! 身につく! 病原体・感染・免疫」 南山堂 ISBN978-4-525-16233-7	その他参考文献など: ビジュアル微生物学」ヌーヴェルヒロカワ

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 感染症予防対策は、全ての行為の基本になります。基本的知識をしっかり身につけて、よりよい看護を目指して下さい。

看護学科

科目名: 代謝と栄養					担当教員 氏名: 橋本 光正、越野 庸介
単　位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	病院管理栄養士の実務経験から、患者さんの病態と食事の関連について、具体的な症例を含めて授業している(越野)				

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
生体を構成する物質の性質、機能や代謝など生命を維持するための基礎と共に、食物がどのように消化・吸収されて生体で利用されているかについて学ぶ。さらに、正常な物質代謝が乱れると病気になること、そして、病気になった場合の病態解明と検査・治療法などとの関連性について学ぶ。また、実際の生活に知識を適用する基礎としての栄養と臨床栄養について学ぶ。	生化学　消化吸収 栄養　物質代謝 食育　健康づくり

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．3．4．5．6．7
A　知識・理解力	①生体を構成する物質がどのような化合物から成り立っていて、どのような性質や機能を有するか理解する。 ②三大栄養素がどのように消化・吸収されて生体に役立っているか理解する。 ③どのような物質代謝の乱れが病気の原因になるかを学び、その病気の原因と検査・治療法との関連性について理解する。 ④健康づくりと各栄養素とのかかわり(消化・吸収・代謝)療養生活時の食事とのかかわりを理解する。
C　論理的思考力	

成績評価の方法・基準:　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

【橋本】				
テスト: 90 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 10 %
【越野】				
テスト: 80 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: 20 %

特記事項:
その他10%は授業への参加姿勢を評価する。(橋本)　その他20%は授業への参加姿勢を評価する。(越野)

アクティブラーニング要素:
課題解決型学修　ディスカッション、ディベート　(グループワーク)　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:
4回の講義を終了してから、テストを実施する。(橋本)　4回の授業終了後テスト実施する。(越野)

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:
テストを採点し返却する。(橋本)　テスト採点し返却する。(越野)

授　業　計　画	準備学習(予習・復習等)	
	学習内容	学習に必要な時間(分)
①【橋本】代謝とは何か？糖質の種類、消化・吸収、グルコースの分解、グリコーゲンの代謝などについて講義する。	【予習】教科書(糖質の代謝)を読む 【復習】①の復習	【予習】60分 【復習】60分
②【橋本】脂質の種類、消化・吸収、脂肪酸の分解(β酸化)と生合成、ケトン体の生成と代謝などについて講義する。	【予習】教科書(脂質の代謝)を読む 【復習】②の復習	【予習】60分 【復習】60分
③【橋本】タンパク質・アミノ酸の役割、タンパク質の消化・吸収、アミノ酸の代謝(尿素サイクル)について講義する。	【予習】教科書(たんぱく質の代謝)を読む 【復習】③の復習	【予習】60分 【復習】60分
④【橋本】三大栄養素の代謝がどのように関連しているか、また、その代謝の乱れがどのような病気を引き起こすかについて講義する。	【予習】教科書(代謝と疾患など)を読む 【復習】④の復習	【予習】60分 【復習】60分
⑤【越野】標準体重と目標体重、推定栄養必要量、推定平均必要量、推奨量、目安量等について講義する。	【予習】教科書(食事摂取基準)を読む	30分
⑥【越野】疾患別食事療法　消化器系疾患、摂食嚥下障害について講義する。	【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分
⑦【越野】疾患別食事療法　内分泌・代謝疾患、循環器系疾患について講義する。	【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分
⑧【越野】疾患別食事療法　腎・肝疾患について講義する。	【予習】教科書(疾患別食事療法)を読む	30分

使用テキスト:臨床生化学(ナーシング・グラフィカ)MCメディカ出版、宮澤恵二、ISBN978-4-8404-6128-3 臨床栄養学(ナーシング・グラフィカ)株式会社メディカ出版、關戸啓子、ISBN978-4-8404-7527-3	その他参考文献など: 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
三大栄養素がどのように代謝されて、私達の健康に役立っているかを講義する。また、その代謝がどのような時に崩れ、どのような病気につながっているかを講義する。(橋本)
臨床栄養の実際を含めた授業内容から、具体的なイメージをつかみ、知識と結び付けて理解を深めていただけるよう講義いたします。(越野)

看護学科

科目名: 医療学入門					担当教員 氏名:	三浦太郎、堀川直樹、土井智章 とりまとめ高橋絹代
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	医療従事者としての経験に基づき、医療の実践とその課題について考える授業を行う。					

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
医療に携わるものとしての自覚と意欲・倫理観を育成し強化することをねらいとして医学と医療の歴史、現状、課題と展望について学ぶ。 また、救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を学び、そこにおける医療人としての看護職の役割と求められる技術について学ぶ。	医療者 倫理観 救急医療災害医療 僻地医療総合医療 チーム医療

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．3．4．5．6
A 知識・理解力	医学と医療の歴史、現状、課題と展望について理解する。
B 専門的技術	救急蘇生法について知る。
E 自己管理力	地域医療について理解し、看護領域における学ぶ意欲を高める。
F チームワーク・リーダーシップ	救急医療・災害医療・僻地医療・総合医療など多様な場や環境における医療のあり方とチーム医療のあり方を理解し、医療人としての看護職の役割について考える。
G 倫理観	医療に携わる者としての自覚と意欲・倫理観を育成・強化する。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 75 %	レポート: 25 %	発表: %	実技試験: %	その他: %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
課題解決型学修　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:講義後にレポートを提出してもらう場合とテストを行う場合がある。テスト、レポート課題の詳細については、各講師から指示がある。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【三浦】地域包括ケアシステムと医療	・医学・看護学の歩み、医療倫理について調べておく ・チーム医療、現在の医療とその課題について事前に新聞やインターネットで調べておく ・記憶に残っている災害について調べておく	【予習】30分【復習】30分
②【高橋】 医学・看護の歴史		【予習】30分【復習】30分
③【高橋】 地域での医療職の役割		【予習】30分【復習】30分
④【三浦】プライマリ・ケア／在宅医療		90分
⑤【堀川】現在の医療現場で求められる看護職の能力・資質、チーム医療		90分
⑥【土井】医療機関と地域とのつながり、その課題	総合診療、地域医療、へき地医療と言う言葉とその課題について事前に新聞やインターネットで調べておく	【予習】100分【復習】100分
⑦【堀川】がんの集学的治療		【予習】100分【復習】100分
⑧【土井】緊急医療・災害医療の現状と課題、求められる技術		【予習】100分【復習】100分

使用テキスト:	その他参考文献など:
【土井】改訂6版 救急蘇生法の指針2020 医療従事者用（へるす出版）ISBN 978-4-86719-035-7 【土井】災害看護改訂第4版 看護の専門知識を統合して実践につなげる（南江堂）ISBN978-4-524-23165-2 【高橋】医療概論　健康支援と社会保障制度（医学書院）ISBN978-4-260-06194-0	・知れば変わる自分のカラダ 健康レベルを上げる「身体学」入門（福村出版） ・JRC蘇生ガイドライン2020（医学書院）ISBN978-4-260-04637-4 ・改訂第5版日本救急医学会ICLSコースガイドブック（羊土社）ISBN978-4-7581-2396-9

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):

看護学科

科目名: 生涯人間発達学					担当教員 氏名: 石津 孝治
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	臨床心理士としての心理臨床経験に基づき、事例を提示し、理解を深める。					

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
誕生から死に至るまでの心理学的な発達のプロセスについて学ぶ。主に発達の節目における、認知的、人格的、社会的な特徴について取り上げる予定であり、その際、内面的、力動的な観点を重視する。しかし、最近の発達心理学による客観的な知見もできるだけ素材として取り上げたい。	・発達課題 ・関係性の中での発達

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 6. 9. 10
A 知識・理解力	それぞれの節目における発達的特徴が理解できる
C 論理的思考力	発達の連続性について理解できる。

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 100 %	レポート: %	発表: %	実技試験: %	その他: %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:テストを採点し返却。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①乳児期の発達的特徴について学ぶ (乳児期の知覚、基本的信頼感、個人差)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
②幼児期の発達の特徴について学ぶ (分離個体化、愛着)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
③学童期の発達の特徴について学ぶ (認知発達、対人関係)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
④思春期の発達の特徴について学ぶ (自己の発達、対人関係)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
⑤青年期の発達の特徴について学ぶ (大人になること、同一性形成)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
⑥成人期の発達的特徴について学ぶ (生殖性、生産性と中年期危機)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
⑦老年期の発達的特徴について学ぶ (人生の受容と絶望)	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習20分
⑧発達の本質について学ぶ、まとめ	復習。ノートを整理する。疑問点をリスト化し、調べる。	復習30分

使用テキスト: 服部祥子 「生涯人間発達論 第3版: 人間への深い理解と愛情を育むために」 医学書院 ISBN978-4260041331	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):客観的な研究では把握し難い、発達の内面的な領域について重点を置いて扱います。理解を深めるには、講義の素材を自分のこととして考えたり、また、自分なりに想像することが求められます。この作業を大事にしてください。

看護学科

科目名: 社会福祉概論			担当教員 氏名: 鷹西 恒、炭谷英信			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次	前期	専門基礎科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	社会福祉士等の資格を有した教員が、相談援助、自治体の各種福祉計画策定等の実務経験を生かして授業を行う					

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
看護の領域において社会福祉を学ぶことは重要である。貧困や救護、虐待、ニート、少子高齢化、年金など生活の中にある福祉的な問題に着目し、それらに法律や施策、社会保障制度がいかに作用しているかを具体的に学ぶ。また、保健、医療・福祉分野のネットワークのあり方や自立支援システムについても考察をする。	社会保険 保健 医療 福祉 社会保障

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．3．5．6．
A 知識・理解力	社会福祉の概要を学ぶことで総合的な知識力を高めることができる
C 論理的思考力	社会福祉実践のプロセスを理解することで思考力を身につけることができる
D 問題解決力	理論や社会事業を通して問題解決に至る方法と力を身につけることができる
G 倫理観	福祉の学びを通して生命観や倫理観を身につけることができる

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 80 %	レポート: 15 %	発表: %	実技試験: %	その他: 5 %

特記事項:
その他とは授業の出席状況、姿勢、態度のことである。

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:レポートは適時、最終評価は筆記試験で実施する。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: レポート返却時のコメント等によってアドバイスを行う。

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
【鷹西】①生活と社会福祉 ～ライフスタイルの変遷と諸問題、なぜ福祉が必要なのか～	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【鷹西】②社会保障制度と社会福祉	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【炭谷】③わが国の社会保険制度 ～なぜ保険金を払うのか～	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【鷹西】④社会福祉の歴史と援助技術、社会福祉の諸制度と施策～自立支援のための様々な仕掛け～	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【炭谷】⑤社会福祉の諸制度と施策～自立支援のための様々な仕掛け～	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【炭谷】⑥社会福祉行政のしくみ ～専門職はどこで働いているのか～	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【炭谷】⑦社会保障・社会福祉改革の動向	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分
【炭谷】⑧まとめ	【事前】①当該ページを読む 【事後】授業の復習	【予習】120分 【復習】120分

使用テキスト: 新体系 看護学全書 健康支援と社会保障制度 メヂカルフレンド社 「社会福祉」ISBN:978-4-8392-3415-7	その他参考文献など: 「厚生労働白書」 厚生労働省

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):
事前・事後学習において、テキストだけでなく、国の指標や各種データ等にも目を通してください。

看護学科

科目名: 看護学概論					担当教員 氏名: 高橋 絹代
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件)必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	社会、医療、看護の繋がりの中での職務経験を活かし、求められる看護の基本を教授する					

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
・看護の概念、目的、看護実践における知識、技術などを学問としての看護の視点で学ぶ ・看護の対象者を理解するために多角的視点を持つ ・看護の変遷と現在の課題について理解し、専門職としてのアプローチについて考える ・看護実践の基盤となる安全、倫理、看護過程などを理解する	基本概念 対象理解 看護実践の基盤 専門職 チーム医療

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1．2．3．5．6．7．
A 知識・理解力	看護を学ぶ基本的知識を習得する。単語の意味、定義などを理解する
F チームワーク・リーダーシップ	グループワークを多用するためチームでの活動のルールを理解し、リーダーの役割、メンバーの役割を果たし、他者との協働が行える
H コミュニケーション力	チーム内でのコミュニケーションから医療者としてのコミュニケーションマナーを学ぶ
G 倫理観	医療従事者としての倫理観にいて学び、実践する
E 自己管理力	体調管理や学修管理など自己管理について学び、実践する

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 45 %	レポート: 20 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 15 %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
課題解決型学習、ディスカッション、ディベート、グループワーク、プレゼンテーション、実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:テストは授業終了後に1回実施。レポート課題は2回。発表も評価対象となる

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:評価のルーブリックを提示。レポートに関しては、ルーブリックによる評価とコメントを返却する

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【高橋】自分のなりたい看護師像 (個人ワークとグループワーク)、看護の責務とその広がり	予習 P14～19を読む 復習 言葉の意味調べ	予習 30分 復習 60分
②【高橋】第1部看護における基本的概念	予習 P20～69 を読む 復習 言葉の意味調べ	予習 30分 復習 60分
③【高橋】看護の対象とその理解	予習 P70～92を読む 復習 基準、ガイドラインの理解	予習 30分 復習 60分
④【高橋】健康と病気におけるウエルネスの促進	予習 93～111 復習 用語の理解、統計の理解	予習 30分 復習 60分
⑤【高橋】ライフサイクルと健康	予習 P112～125 復習 発達理論の理解 発達段階の特徴を把握	予習 30分 復習 60分
⑥【高橋】看護の理論と実践(グループワーク「各グループは1名の理論家についてまとめる」)	予習 P126～151 復習 看護理論家について理解する。	予習 30分 復習 60分
⑦【高橋】看護の理論と実践(グループワーク「各グループは2名の理論家についてまとめる」)	予習 P126～151 復習 看護理論家について理解する	予習 30分 復習 60分
⑧【高橋】看護における倫理と価値(グループワーク「臓器移植と倫理」)	予習 P152～183 復習 用語の整理	予習 30分 復習 60分
⑨【高橋】看護ケア(看護援助)の基本的役割	予習 P184～197 復習 コミュニケーションの理解	予習 30分 復習 60分
⑩【高橋】看護過程	予習P198～205 復習 看護過程の概要を理解	予習 30分 復習 60分
⑪【高橋】看護における法的側面	予習 P206～ 復習 保健師助産師看護師法の重要ポイントを理解	予習 30分 復習 60分
⑫【高橋】保険・医療・福祉システム／看護の展開と継続性	予習 P236～275 復習 仕組みについての理解	予習 30分 復習 60分
⑬【高橋】看護の統合と今後の展望	予習 P276～325 復習 安全・災害の理解	予習 30分 復習 60分
⑭【高橋】まとめ 発表「自分のなりたい看護師になるためには何が必要か 看護学概論で学びから」		予習 30分 復習 60分
⑮【高橋】まとめ 発表「自分のなりたい看護師になるためには何が必要か 看護学概論で学びから」		予習 30分 復習 60分

使用テキスト:基礎看護学①看護学概論 MCメディカ ISBN978-4-8404-7535-B	その他参考文献など:

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 入学後まもなくから始まる授業です。看護を理解するためには、新しく出会う言葉や概念などの理解が必要となります。一つ一つ確認しながら学習を進めていきましょう。

看護学科

科目名: 看護技術論Ⅰ				担当教員 氏名: 高橋 絹代 泉朱子	
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
1	1年次 前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	実務経験を活かし実践的に教授する				

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
①コミュニケーションの基本原理とコミュニケーションが困難な場合の方法を学ぶ ②ヘルスアセスメントの基本を理解し、正確に実践できる ③フィジカルアセスメントの理解し、事例にあった実践ができる	コミュニケーション技術 ヘルスアセスメント フィジカルアセスメント

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 4. 5. 6. 7. 8.
A 知識・理解力	対象の健康に対するニーズを判断するために必要なコミュニケーション技術及び、解剖生理の基本を理解したアセスメント能力を身に付けることができる。
H コミュニケーション力	手段としてのコミュニケーションを学び、有効な技術を身に付けることができる
B 専門的技術	バイタルサイン、フィジカルアセスメントの正確な技術を身に付けることができる。
C 論理的思考力	病態生理の重要を理解し、アセスメントに必要な論理的思考を身に付けることができる
D 問題解決力	

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 60 %	レポート: %	発表: %	実技試験: 40 %	その他: %

特記事項:

アクティブラーニング要素:
(課題解決型学習) ディスカッション、ディベート (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期:

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法:

授 業 計 画	準備学習(予習・復習等) 学習内容	学習に必要な時間(分)
①【高橋】オリエンテーション 看護技術の考え方	教科書P2～15	予習60分 復習60分
②【高橋】コミュニケーション (コミュニケーションの基本)	教科書P16～61	予習60分 復習60分
③【高橋】コミュニケーション (コミュニケーション障害への対応)	教科書P16～61	予習60分 復習60分
④【泉】ヘルスアセスメント(問診)	教科書P128～146	予習60分 復習60分
⑤【泉】ヘルスアセスメント (バイタルサイン)	教科書P137～171	予習60分 復習60分
⑥【泉】ヘルスアセスメント (バイタルサイン)	教科書P137～171	予習60分 復習60分
⑦【泉】ヘルスアセスメント (バイタルサイン)	教科書P137～171	予習60分 復習60分
⑧【泉】ヘルスアセスメント 計測	教科書P171～172	予習60分 復習60分
⑨【高橋】フィジカルアセスメント 呼吸器系	教科書P188～198	予習60分 復習60分
⑩【高橋】フィジカルアセスメント 循環器系	教科書P198～205	予習60分 復習60分
⑪【高橋】フィジカルアセスメント 腹部	教科書P212～221	予習60分 復習60分
⑫【高橋】フィジカルアセスメント 骨格筋・神経・感覚器系	教科書P221～252	予習60分 復習60分
⑬【高橋】フィジカルアセスメント 外皮系	教科書P252～257	予習60分 復習60分
⑭【高橋】フィジカルアセスメント 心理・社会状態	教科書P258～268	予習60分 復習60分
⑮【高橋】知識の確認とまとめ		復習120分

使用テキスト:有田清子:系統別看護学講座:専門分野.基礎看護学(2)基礎看護技術Ⅰ、医学書院 ISBN978-4-260-04992-4 任和子、井川順子編:根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術.医学書院 ISBN978-4-260-04790-6	その他参考文献など:写真でわかる看護のためのフィジカルアセスメントアドバンス.インターメディカ.

受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 看護実践の基本となる授業科目です。予習では医学用語など新しい言葉の意味を一つ一つ調べて授業に臨みます。復習では実践や、イメージトレーニングを通して技術の確実な習得を目指しましょう。

看護学科

科目名: 生活行動援助技術論				担当教員 氏名: 高橋絹代、稲垣尚恵、泉朱子、炭谷英信		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:	ョンで知識とイメージを持って演習に臨める構成とし、最後に振り返りテストで自分の学びを客観的に評価できる					

授業科目の学習教育目標の概要:	キーワード
①医療の安全を理解したうえで、患者に適切な看護技術が提供できる知識の獲得できる ②科学的根拠に基づいた看護技術の必要性の判断、技術の的確な方法での実施できる ③患者の状況に応じた看護技術の選択、安全、安楽な看護技術が行える	安全、安楽 感染防御 生活援助 適切なケア

授業における学修の到達目標

学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)	自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号) 1. 2. 5. 6. 8.
A 知識・理解力	看護技術の基礎となる安全について理解し、対象者の環境や疾病等で困難となった生活行動について理解する
B 専門的技術	スタンダードプリコーション、生活援助(活動、運動、食事、排泄、清潔等)技術の実践ができる
C 論理的思考力	対象に対する看護技術の提供を、根拠をもって述べることができる
H コミュニケーション力	対象と良好なコミュニケーションの基本を学び、ニーズ及び必要にあった援助が行える技術を身に付けることができる

成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト: 80 %	レポート: %	発表: %	実技試験: 20 %	その他: %

特記事項:

アクティブラーニング要素:

(課題解決型学習) ディスカッション、ディベート (グループワーク) プレゼンテーション 実習、フィールドワーク

テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期:テストは中間及び、終了時に実施する。自分の実践のためのレポートを課題とし、演習後に修正後に提出。レポートはコメントを入れ返却する。実技は学生の相互評価のルーブリックを用いる。

課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 作成したレポートはコメントを入れ返却。今後の実習への活用も考え、ファイルするように指導。

使用テキスト:専門分野.基礎看護技術Ⅰ基礎看護学2,医学書院 ISBN978-4-260-04992-4.有田清子:系統看護学講座:専門分野.基礎看護技術Ⅱ基礎看護学3,医学書院 ISBN978-4-260-04212-3	その他参考文献など: 専門分野.基礎看護技術Ⅰ基礎看護学2,医学書院 ISBN978-4-260-04992-4.有田清子:系統看護学講座:専門分野.基礎看護技術Ⅱ基礎看護学3,医学書院 ISBN978-4-260-04212-3

受講上の留意点(担当者からのメッセージ):実習での実践をイメージしながら演習を行いましょう

授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)	
			学習内容	学習に必要な時間(分)
回数				
1	【高橋】オリエンテーション/医療における安全	5-101	実習室の使い方 実習の受け方	予習120分 復習60分
2	【高橋】オリエンテーション/医療における安全	5-101	勉強と生活まるごとナビを用いて	予習120分 復習60分
3	【高橋】手洗い、手指消毒、スタンダードプリコーション(看護技術Ⅱ 第2章)	演習室1	講義 基礎看護技術Ⅰ P69～	予習120分 復習60分
4	【高橋】手洗い、手指消毒、スタンダードプリコーション(看護技術Ⅱ 第2章)	演習室1	演習	予習120分 復習60分
5	【泉】環境調整技術 療養生活の環境 病床を整える ベッドメイキング(看護技術Ⅱ 第1章)	演習室1	講義 基礎看護技術Ⅱ P10～	予習120分 復習60分

※前ページよりつづき　　看護学科

科目名: 生活行動援助技術論	担当教員 氏名: 高橋絹代、稲垣尚恵、泉朱子、炭谷英信

授業計画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	【泉】環境調整技術　療養生活の環境　病床を整える　ベッドメイキング(看護技術Ⅱ　第1章)	演習	予習120分 復習60分
7	【泉】食事の援助技術(看護技術Ⅱ　第2章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P32～	予習120分 復習60分
8	【泉】食事の援助技術(看護技術Ⅱ　第2章)	演習	予習120分 復習60分
9	【炭谷】排泄援助技術(看護技術Ⅱ　第3章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P58～	予習120分 復習60分
10	【炭谷】排泄援助技術(看護技術Ⅱ　第3章)	演習	予習120分 復習60分
11	【炭谷】基本的活動の援助:ボディメカニクス、体位、移乗(看護技術Ⅱ　第4章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P100～	予習120分 復習60分
12	【炭谷】基本的活動の援助:ボディメカニクス、体位、移乗(看護技術Ⅱ　第4章)	演習	予習120分 復習60分
13	【炭谷】活動・休息援助技術;　体位変換、歩行の援助、移乗・移送(看護技術第4章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P123～	予習120分 復習60分
14	【炭谷】活動・休息援助技術;　体位変換、歩行の援助、移乗・移送(看護技術第4章)	演習	予習120分 復習60分
15	【高橋】清潔の援助;　口腔ケア(看護技術Ⅱ　第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P213～	予習120分 復習60分
16	【高橋】清潔の援助;　口腔ケア(看護技術Ⅱ　第6章)	演習	予習120分 復習60分
17	【泉】清潔の援助;　手浴・足浴・フットケア(第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P197～	予習120分 復習60分
18	【泉】清潔の援助;　手浴・足浴・フットケア(第6章)	演習	予習120分 復習60分
19	【稲垣】清潔の援助;　清拭・入浴・シャワー浴(第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P177～	予習120分 復習60分
20	【稲垣】清潔の援助;　清拭・入浴・シャワー浴(第6章)	演習	予習120分 復習60分
21	【泉】清潔の援助;　洗髪(第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P188～	予習120分 復習60分
22	【泉】清潔の援助;　洗髪(第6章)	演習	予習120分 復習60分
23	【泉】清潔の援助;　陰部洗浄(看護技術Ⅱ　第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P202～	予習120分 復習60分
24	【泉】清潔の援助;　陰部洗浄(看護技術Ⅱ　第6章)	演習	予習120分 復習60分
25	【稲垣】清潔の援助;　整容(看護技術Ⅱ　第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P205～	予習120分 復習60分
26	【稲垣】睡眠休息の援助;　整容(看護技術Ⅱ　第4章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P137～	予習120分 復習60分
27	【稲垣】病床での衣生活;　病衣・寝衣交換(看護技術Ⅱ　第6章)	講義　基礎看護技術Ⅱ P221～	予習120分 復習60分
28	【稲垣】病床での衣生活;　病衣・寝衣交換(看護技術Ⅱ　第6章 P224～231)	演習	予習120分 復習60分
29	【高橋】まとめ		予習120分 復習60分
30	【高橋】まとめ		予習120分 復習60分

看護学科

科目名： 地域・在宅看護学概論					担当教員 氏名： 今川孝枝　服部万里生
単　位	開講時期（年次・期）		科目の区分	授業方法	（卒業要件）必修／選択	備考
2	1年次	前期	専門科目	講義	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか：	病院や施設などの実務経験を活かして、地域・在宅で暮らす人々の理解、看護職の役割について教授する。					

授業科目の学習教育目標の概要：	キーワード
地域・在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、地域・在宅看護の目的・基本的な理念や関連する概念、原理原則を学ぶ。地域・在宅看護の対象者の特性と支援のあり方、ならびにその支援を支える制度を学ぶ。さらに、地域包括システムの基本、関連機関・職種との連携の必要性、社会資源を学ぶ。	暮らしと健康　地域　予防活動 地域包括ケア　家族看護

授業における学修の到達目標

学習教育目標（卒業認定・学位授与の方針との関連）	自己形成を進める行動目標（福短マトリックスで示される番号）　1．2．3．4．5
A 知識・理解力	地域・在宅看護の概念、地域での暮らしを理解する
C 論理的思考力	ディスカッションを行う中で、論理的思考力、自己管理力、チームワーク、コミュニケーションを養う
D 問題解決力	
G 倫理観	
H コミュニケーション力	

成績評価の方法・基準：　以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする

テスト： 70 %	レポート： 10 %	発表： 10 %	実技試験： %	その他： 10 %

特記事項：本科目はアクティブ・ラーニングの一環として、フィルドワーク、グループワーク、討論により地域・在宅で暮らす人々の理解と　地域包括ケアについての考え方を深め、看護師としての役割を学ぶことを狙いとしています。その他10%は取り組み具合を評価します

アクティブラーニング要素：

課題解決型学習　ディスカッション、ディベート　グループワーク　プレゼンテーション　実習、フィールドワーク

ﾃｽﾄ・ﾚﾎﾟｰﾄ・発表・実技試験等の実施時期：中間に確認テスト、最終試験は別に定めた日時の実施します。適宜課題の発表を課します

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法：課題は後日返却します

授　業　計　画	準備学習（予習・復習等）	
	学習内容	学習に必要な時間（分）
①【今川】ガイダンス、地域における暮らし	【予習】はじめに、序章熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分【復習】60分
②【今川】地域と生活と健康	【予習】第1章1,2熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
③【今川】地域アセスメントの意義と方法	【予習】第1章3熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
④【今川】地域・在宅看護の概念①　地域・在宅看護の背景、看護の実践	【予習】第2章1,2,3、第1章2熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑤【今川】地域・在宅看護の概念②　地域在宅看護の基盤、役割、機能、倫理、地域包括システム	【予習】第3章1,2,3熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑥【今川】地域包括システムと共生社会、多職種連携	【予習】第1章2、第3章4,5熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑦【今川】地域・在宅看護の対象者　在宅療養の成立要件	【予習】第4章1,2熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑧【今川】在宅療養者と家族への支援	【予習】第4章3熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑨【今川】確認テスト、在宅療養を支える訪問看護	【予習】第5章熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑩【今川】 地域療養を支える制度 （医療保険、介護保険）	【予習】第7章熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑪【今川】 地域療養を支える制度 （障害に関連する法律、難病法、社会資源）	【予習】第7章熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑫【今川】 難病患者支援について（特別講師）	【予習】第5章熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分
⑬【服部】 地域・在宅看護の実践（特別講師：訪問看護）	【予習】職種について調べる 【復習】ポイントをまとめる	【予習】60分 【復習】60分
⑭【今川】 地域・在宅看護の実践（特別講師：保育園等の看護師）	【予習】職種について調べる 【復習】ポイントをまとめる	【予習】60分 【復習】60分
⑮【今川】 地域・在宅看護の動向と今後の発展、まとめ	【予習】第9章熟読 【復習】授業の振り返り	【予習】60分 【復習】60分

使用テキスト：ナーシンググラフィカ地域・在宅看護論① メディカ出版 ISBN978-4-8404-7543-3 ※テキストは後期、2年次も使用します。	その他参考文献など： 国民衛生の動向

受講上の留意点（担当者からのメッセージ）：　人々の生活に目を向けましょう。